

# 広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センタ

## ■コメント

#### 1 感染性胃腸炎

定点当たり15.78人の報告があり、多い状況が続いています。 県内では、第10週に東部保健所及び福山市保健所管内で警 報開始基準値(定点当たり20)以上となったため、3月13日、 県内全域に「感染性胃腸炎警報」が発令されました。こまめな 手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底し ましょう。

#### 2 RSウイルス感染症

定点当たり1.39人の報告があり、増加傾向です。また、例年同時期より多い状況が続いており、注意が必要です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がはましょう。

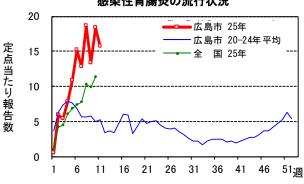
# 咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。 3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.97人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策を徹底しましょう。

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)



## 感染性胃腸炎の流行状況



報告数が少数の場合などは、発生記号を 記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数 (小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均 (定点当たり)

## ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	24	80歳代
4	レジオネラ症	1	3	80歳代
5	アメーバ赤痢	1	1	60歳代
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	80歳代
5	梅毒	3	29	20歳代·1人、50歳代·2人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	70歳代
5	百日咳	6	34	10歳未満·2人、10歳代·2人、40歳代·2人

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナ	感染症 ぶいしん	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)感染性胃腸炎
+5	広島市	第7週	57	88	22	5	35	295	-	-	1	4	1	1	1	7	-	-	4	-	1
報		第8週	49	84	19	2	39	429	4	1	4	_	_	2	_	4	_	_	3	_	-
		第9週	37	102	27	13	31	307	_	_	3	4	1	_	1	1	_	_	5	_	4
数		第10週	36	70	29	3	44	424	_	_	6	6	_	_	_	12	_	_	4	_	5
_		第11週	34	71	32	10	44	363	2	3	8	2				7			_1_		2
		第7週	1.58	2.44	0.96	0.22	1.52	12.83	_	_	0.04	0.17	0.04	0.04	0.13	0.88	_	_	0.67	-	0.17
定		第8週	1.36	2.33	0.83	0.09	1.70	18.65	0.17	0.04	0.17	-	-	0.09	-	0.50	-	-	0.50	-	-
点	広島市	第9週	1.03	2.83	1.17	0.57	1.35	13.35	-	-	0.13	0.17	0.04	-	0.13	0.13	_	_	0.83	-	0.67
当		第10週	1.00	1.94	1.26	0.13	1.91	18.43	-	-	0.26	0.26	-	-	-	1.50	-	-	0.67	-	0.83
た		第11週	0.94	1.97	1.39	0.43	1.91	15.78	0.09	0.13	0.35	0.09	_	_	_	0.88	_	_	0.17	-	0.33
IJ	全国	第9週	1.88	4.42	1.28	0.25	1.95	9.85	0.25	0.05	0.57	0.18	0.01	0.04	0.04	0.73	0.03	0.02	0.36	-	0.15
	土国	第10週	2.02	4.07	1.41	0.29	2.33	11.38	0.27	0.05	0.57	0.20	0.01	0.04	0.04	0.83	0.02	0.02	0.28	-	0.15

## ■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

					()(11)	01717
診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体	
流行性角結膜炎	結膜炎	47	2025/01/09	結膜擦過物	アデノウイルス56型	
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	47	2025/01/10	結膜擦過物	アデノウイルス56型	

<sup>\*</sup> 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## ■STD(性感染症)・基幹定点報告状況(月報対象)の推移

STD(性感染症)定点														基幹定点									
			学クラミ 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症			
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
起生粉	広島市	1月	29	24	5	9	7	2	5	5	0	16	15	1	17	9	8	2	1	1	0	0	0
拟口奴		2月	28	25	3	10	7	3	7	6	1	12	11	1	19	14	5	0	0	0	0	0	0
	広島市	1月	3.22	2.67	0.56	1.00	0.78	0.22	0.56	0.56	0.00	1.78	1.67	0.11	2.83	1.50	1.33	0.33	0.17	0.17	0.00	0.00	0.00
定点	四田山	2月	3.11	2.78	0.33	1.11	0.78	0.33	0.78	0.67	0.11	1.33	1.22	0.11	3.17	2.33	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
当たり	全国	2月	2.07	1.02	1.04	0.76	0.28	0.48	0.45	0.29	0.16	0.54	0.41	0.14	2.62	1.61	1.01	0.16	0.09	0.07	0.01	0.01	0.00

定点数 STD定点 9 基幹定点 6

### ★麻しん(はしか)について

国内で、麻しんの海外からの輸入例や、輸入例からの感染事例の報告が続いており、注意が必要です(全国の今年の累計22件、第10週現在)。

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力は極めて強く、空気感染・飛沫感染・接触感染によって感染します。感染すると、約10~12日後に、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。38度前後の発熱が2~4日間続いた後、39.5度以上の高熱と発疹が出現します。患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われており、先進国であっても1,000人に1人が亡くなる病気です。

最も有効な予防法はワクチン接種です。こどもの定期予防接種は忘れずに受けましょう。また、海外渡航の際は、事前に予防接種歴を確認し、2回接種していない方は、予防接種を受けることを検討しましょう。

麻しんが疑われる症状が見られた場合は、医療機関に電話連絡の上、公共交通機関の利用は可能な限り避けて受診しましょう。

#### 【参考】

海外における麻しん(はしか)の流行について(広島市)

https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1027974/1023001.html

麻しんについて(厚生労働省)

 $https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html \\$ 





本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html

## 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商エセンター四丁目 1 番 2 号 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city. hiroshima. lg. jp